

第5学年1組 理科学習指導案

令和3年6月9日（水）3校時
指導者 梅田 聡

1. 単元名（教材名） 「ヒトのたんじょう」

2. 単元目標

動物の発生や成長に興味をもち、見いだした問題を資料を活用するなどの追究する活動を通して、ヒトの卵や胎児の成長の様子を時間の経過と関係付けて捉えられるようにする。また、おもに予想や仮説をもとに、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成することができるようにする。

3. 単元計画（全6時間）

単元導入 ヒトのたんじょう（1時間）

第1次 ヒトの受精卵

第1時 ヒトがたんじょうするまで（3時間）

第2時 ヒトがどのように育ってきたのかを発表しよう（1時間）（本時）

まとめ つなげよう（1時間）

4. ICT活用の分類

ICT 機器	タブレット端末（一人一台）
アプリ	JamBoard
機能	写真の貼り付け、写真の拡大・縮小・移動など
活用場面	資料の比較・関係付け

5. 本時における ICT 活用による学びの「しやすさ」とは

本時の学習では、ヒトの母体内での成長の様子について、自らの予想や仮説と比べながら動物の発生や成長とその変化を関係付けて考察し、表現することをねらいとしている。

そこで、母体内での成長の様子を観察し、連続的に成長していくことを捉えやすくするために、メダカの卵の成長と関係付けながら捉えさせる。その際の本時における ICT 活用による学びの「しやすさ」として、比較・関係付けの「しやすさ」をねらいとしていく。JamBoard を利用することで、ヒトの母体内での成長の様子についてまとめたものとメダカの発生や成長の様子についてまとめたものを同一の画面上に表示して比較・関係付けができるようにする。実物の写真を自由に拡大・縮小ができるようになることで、ヒトとメダカの発生や成長の様子の相違点や共通点が分かりやすくなる。また、まとめの「つなげよう」での学習で、いろいろな動物のたんじょうを調べる活動でも、まとめた動物について比較・関係付けをしながら考え、母体内での育つ期間や、一度に産む子の数、生まれたときの大きさ、その後の成長の仕方などは種類によってさまざまな特徴があることを実感させやすくするなどのメリットが考えられる。

また、本単元では、ヒトの赤ちゃんの成長についての動画を準備することで、実物を観察することができないものでも、動画を繰り返し見ることができ、ヒトの赤ちゃんの成長について理解を深めやすくなる。さらに、他の動物を調べる場面でもタブレット端末で調べることで、それぞれが興味をもった動物をすぐ調べることができるメリットがあると考えられる。

6. 本時目標

ヒトの母体内での成長の様子について、動物の発生や成長とその変化を関係付けて考察し、表現することができる。（思考力・表現力・判断力等）

7. 本時の展開

学習活動 ○発問 ・予想される子供の反応	指導上の留意点と評価 ☆ICT 活用について ◎指導上の留意点 評：評価
1. 調べたことをもとに、ヒトがどのように育ってきたのか発表する。	◎グループで発表する。一人一人の役割をはっきりさせておく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ヒトがどのように育ってきたのか発表しよう。 </div>	
○ヒトの母体内の成長の様子についてまとめたことを発表しましょう。 ・約38週かけて、母親の体内で成長していた。 ・母親の体内で、胎盤からへその緒を通して養分などを受け取り、いらぬものをわたしている。	◎資料のまとめ方、発表の仕方でよいものを具体的に取り上げ、他の班が参考にできるようにする。 ◎始めの疑問や予想と対応させながら、ヒトの発生と成長について振り返らせる。
2. メダカの誕生と比べて、似ているところと違うところを考え話し合う。 ○メダカの成長と関係づけて話し合しましょう。 ・ヒトもメダカのように、受精卵から始まっている。 ・ヒトはメダカと違い、胎盤からへその緒を通して、母親から養分などをもらっていた。 ・誕生した後は、メダカはおなかの袋の養分を使ったけれど、ヒトは半年以上、乳で育つ。	◎母体内での成長については、直接観察することが難しく、連続的に成長していくことが捉え捉えにくいので、メダカの卵の成長と関係付けながら捉えさせるようにする。 ☆グループで作成した JamBoard の資料を共有することによって学びを深める。
3. まとめをする。 ○ヒトの母体内の成長についてまとめよう。 ・受精して約38週間で子供が誕生する。 ・子宮の中では、胎盤からへその緒を通	◎生命の連続性や大切さについて意識させることで、生命を尊重する態度を育てるようにする。



評：ヒトの母体内での成長の様子について、動物の発生や成長とその変化を関係付けて考察し、表現できたか。（発言・行動観察）

<p>して養分などを受け取り、いらぬものをわたしている。</p> <ul style="list-style-type: none">・誕生後、半年以上の間、乳を飲んで育つ。・子供が親になり、また子供を産むことで、生命が受け継がれていく。 <p>4. 本時の学習を振り返り、次時につなげる。</p>	<p>◎次時は他の動物についても調べていくことを確認する。</p>
--	-----------------------------------